

陳 情 文 書 表

<p>受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名</p>	<p>陳情第124号（7.3.14） 神戸市民の住環境等をまもりそだてる条例にのっとり、王子スタジアムの移転・建設に関する住民説明会の早期開催を求める陳情</p>
<p>陳 情 の 要 旨</p>	<p>神戸市は、自らの定める条例の主旨に従い、王子公園の北側への移築予定であるスタジアムの建設計画について、詳細が固まる前に、近隣住民等への説明会を速やかに開催すること。</p>
<p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市灘区 「王子公園・市民ミーティング」実行委員会 代表 事務局長 金丸 正樹 ほか1名</p>
<p>送 付 委 員 会</p>	<p>建設防災委員会</p>

2025年3月14日

神戸市会議長 様

【陳情者】

神戸市灘区:

「王子公園・市民ミーティング」実行委員会

〈代表〉 事務局長 金丸正樹

小林みず

「神戸市民の住環境等をまもりそだてる条例」に則り
王子スタジアムの移転・建設に関する住民説明会の早期開催を求める陳情

【陳情趣旨】

神戸市は昨年11月、王子公園の一部・現スタジアム約3.5畝を関西学院に売却する議案を本会議に提案し、市議会はこれを可決しました。神戸市はそれを受けて、市民のさまざまな疑問や不安の声をよそに、王子公園再整備の実行にむけて邁進しています。

私は昨年3月の経済港湾委員会で今回同様の趣旨の陳情をし、「王子スタジアムの移転建設に関する住民説明会の早期開催」を求めました。しかしそれに対して不採択の通知を受け取りました。その理由のなかに、以下の記述があります。「近隣住民への説明会は、今後具体的な計画が進展した段階で、神戸市民の住環境等をまもりそだてる条例も踏まえて適切に実施する予定である」と。

その回答からちょうど1年が経ちます。しかし、その間に説明会は全く開かれていません。他方、神戸市は昨年7月に「王子公園再整備事業」の事業者の公募を開始しました。同時に発表されたそのスケジュールでは今月にも事業者との仮契約締結との計画です。

最大のステークホルダーである近隣住民を蚊帳の外に置き、このように着々と計画を進める市の姿勢に、公園の周囲に暮らす住民の不安は今ピークに達しています。

昨年末、私たちの会が呼びかけて、神戸市への工事説明会の早期開催を求める要望ハガキは、2週間ほどで100枚を超えました。その要望に対する神戸市の回答は、またしても「詳細な設計が固まり次第」というものでした。

けれども昨年10月、神戸市建築住宅局は、「『神戸市民の住環境等をまもりそだてる条例』による指定建築物建築届の手引き」を発表しましたが、その冒頭でこう述べています。「建築物を建築するにあっては（中略）良好な近隣関係の保持と健全で快適な住環境の保全に十分配慮し、事業の企画や設計といった当初の段階から（中略）心がけてください。」としています。

これは、神戸市が言う「詳細な計画が固まってから」の説明ではなく、計画を練る早期の段階での説明会や意見交換が必要であることを、市自らが強調しているのであり、説明会を先延ばしする姿勢は、まさに言行不一致と言わなければなりません。『隗より始めよ』です。

以上の観点から、次の事項を陳情します。

【陳情事項】

神戸市は、自らの定める条例の主旨に従い、王子公園の北側への移築予定であるスタジアムの建設計画について、詳細が固まる前に、近隣住民等への説明会を速やかに開催することを求めます。